

お子さまの力が伸びる 「作文・表現力講座」の使い方

「作文・表現力講座」は進研ゼミならではの「お子さまが楽しく取り組める」教材設計で、作文学習に最適な学習の流れに沿った使い方を提案しています。『チャレンジ』とあわせてお使いいただけるように教材量も工夫し、お子さま一人でも使い方がわかるように教材や作文ガイドで使い方を紹介しています。取り組みごとに「見直し」を徹底する学習法で、自らよりよい作文を書ける力を身につけていきます。

※図版は5年生のものです。 ※ここで紹介した教材の内容、名称、デザインなどは変更になる場合があります。

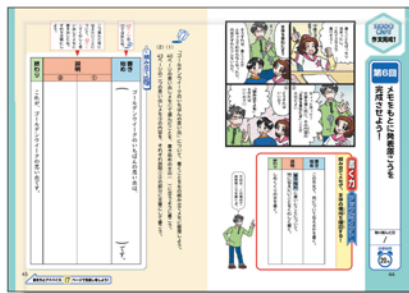
●教材構成と内容 2か月に1回お届け 偶数月にお届け (4・5月号、6・7月号、8・9月号、10・11月号、12・1月号、2・3月号)

メインテキスト『作文チャレンジ』

学校生活や世間で話題の環境問題など、お子さまにとって身近で興味のわくテーマを扱い、「読む」「書く」「考える」という3つの力を使うステップを、学習の中で何度もくり返して踏むことで、もれなく力を伸ばせます。



1号あたり全7回



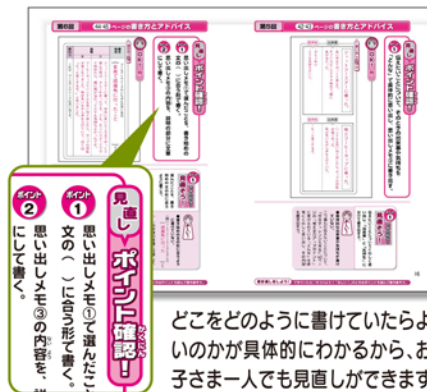
楽しいテーマで自然と取り組みたくなる学習展開(3・4年生)や、組み立てメモで論理的な文章をまとめる習慣づくり(5・6年生)など、進研ゼミならではの工夫が満載です。

見直しのためのテキスト『書き方とアドバイス』

「書いたらそれでいい」ではなく、考え方や書き方を確認し、よりよい作文へと磨き上げていきます。



見直しのポイントがひと目でわかります



どこをどのように書けていたらよいか具体的なわかるから、お子さま一人でも見直しができます。

ついに力を確認、定着させる 赤ペン先生の問題 作文・表現力講座

毎回の学習の仕上げは、作文指導専任の赤ペン先生による評価と指導。お子さまの作文のどこを直せばよくなるかを具体的に指導します。



※図版はイメージです。実際のものとは異なります。

作文専任の先生が力を伸ばします



3つの観点での到達度評価により、お子さまの得意・苦手をつかめます。また、よくできているところへのいいねの認めが次のやる気につながります。

※やむをえず、担任の先生はお休みしたり、かわったりすることがあります。そのときは別の赤ペン先生が担当します。

ほかにも!

おうちのかた向け読み物

さくぶん通信

毎号の「作文チャレンジ」や「作文赤ペン」の学習ポイント、作文・表現力を伸ばすために家庭でできる工夫など、役立つ情報が満載です。



毎号お届け

こんな内容をご用意!

- ・教育の専門家へのインタビュー
- ・今月号の学習内容の紹介
- ・前月号の「作文赤ペン」の見直しポイント

作文の基礎基本がわかる本

作文役立ちBOOK!

学校の作文にすぐに役立つ書き方のコツ、考え方のコツを満載! また、毎号の教材の使い方をていねいに説明している「『作文チャレンジ』使い方まるわかりガイド」もついているので、作文学習にとまどいません。



初回お届け

●毎号の学習ステップ 2か月間で「作文チャレンジ」全7回+「赤ペン先生の問題」に取り組みます!

毎号前月25日までに教材必着!

(例) 4・5月号→3/25までにお届け



使い方を確認して学習スタート!

1回を20~30分で学習! 見直しも必ずセットで行います!

1か月目30日頃までに「4回終了」が目安です。



『作文チャレンジ』



『書き方とアドバイス』

お子さまの作文力を伸ばす家庭での取り組みを促します!

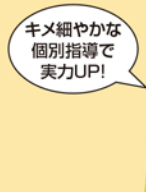


さくぶん通信

毎号の『作文チャレンジ』や「作文赤ペン」に関連したテーマです。

第7回で準備をしたうえで赤ペン先生に作文を提出!

2か月目の月末が提出目標日です!



赤ペン先生の問題

※パソコンはつきません。

イラスト/コジマユキ